

地域の人々や事業者が集まって野菜や花を育てる“コミュニティガーデン”の開設を支援！

3つの新たなコミュニティガーデンがオープン！

福岡市は、事業所から排出される生ごみの堆肥化を推進していますが、都市部では「堆肥を使いきれない」という課題があることから、生ごみ堆肥の活用を促進する施策として、事業者によるコミュニティガーデンの取組みを支援しています。

このたび、**3事業者が新たなコミュニティガーデンを開設**※しますので、周知にご協力いただくとともに、ぜひご取材いただきますようお願い致します。

本取組みを通じ、地域で生まれた堆肥を使うことで、持続可能な資源を生かす循環のまちづくりに貢献します。

※ 開設する3つのコミュニティガーデンは次ページ参照



■ コミュニティガーデンとは

コミュニティガーデンは、地域に住む個人やグループ、事業者などが集まって、空き地や商業施設、ビルの屋上などのオープンスペースで野菜や花を育てる取組みです。

生ごみからできた堆肥を活用する場として資源循環に資するほか、地域コミュニティの活性化や賑わいの創出、食や農の大切さを知る機会に繋がるなど、様々な効果が期待されます。



＼【取材のご案内】パサージュ広場にコミュニティガーデンがオープン！／

株式会社博多大丸、福岡市、NPO法人循環生活研究所の連携により、天神の中心部にあるエルガーラ・パサージュ広場にコミュニティガーデンがオープンします。

大型のプランターを設置し、社員食堂の生ごみからつくった堆肥を活用してハーブや野菜を植え込むイベントを開催しますので、ぜひご取材いただきますようお願いします。

▼ 日時 10月15日(火)

13時～15時 ・ 生ごみ堆肥を活用した土づくり
・ ハーブや野菜の植え込み

▼ 場所 エルガーラ・パサージュ広場（中央区天神1-4-1）



当コミュニティガーデンは農林水産局所管の「公共工事等で発生する残余材を活用する取組み」の対象にもなっており、当日は同取組みに関する取材対応もいたします。詳細については10月8日付プレスリリース「公共工事等で生じた残余材を活用しませんか？」をご参照ください。

■ 開設するコミュニティガーデン

★ 大丸福岡天神店 エルガーラ・パサージュ広場（中央区天神1-4-1）

- ・天神の中心部にあるエルガーラ・パサージュ広場に開設。
- ・社員食堂から出る生ごみを堆肥化して活用し、ハーブや野菜を育てます。
- ・育てたハーブや野菜を活用したイベントや、パタゴニア福岡と連携した生ごみ堆肥化に関する相談会の開催などを通じて生ごみ堆肥化による資源循環について来場者へ啓発します。

運営事業者：株式会社博多大丸



設置予定場所
(エルガーラ・パサージュ広場)

★ ホテルウィングインターナショナル セレクト博多駅前（博多区博多駅前3-22-19）

- ・ホテルの敷地内にある、通りに面したウッドデッキに開設。
- ・ホテルの朝食から出る生ごみを堆肥化して活用し、野菜などを育ててホテルの朝食で提供します。
- ・コミュニティガーデンの取組みに関する掲示を行うとともに、宿泊客向けの収穫体験などを通じて、生ごみ堆肥化による資源循環について宿泊客へ啓発します。

運営事業者：株式会社ミナシア



★ こども食堂CIRCLE（中央区平尾浄水町4-15）

- ・毎週水曜日にこども食堂が開催される、リノベーションした古民家のお庭に開設。
- ・こども食堂で出る生ごみを堆肥化して活用し、野菜などを育ててこども食堂のメニューで提供します。
- ・子どもたちや地域のボランティアとともに堆肥化や野菜づくりに取り組み、資源循環や食の大切さなどを学ぶ機会を創ります。

運営事業者：一般社団法人CIRCLE

